

「いろいろなじゃんけんについてつたえあおう」(1年)

司会者	小・北浦小	教諭
提案者	小・苗羽小	教諭
	小・安田小	教諭
指導者	附属高松小	教頭

1 提案の概要

(1) 取組の概要

- ・ 小豆郡で取り組んでいる知識・技能の明確化について
- ・ 言語活動の教材化の視点について



習得すべき知識・技能の明確化と言語活動の教材化を行い、反復的に習得・活用させていくことが説明力の育成につながるという考えの基に取り組んでいる。

(2) 実践発表

- 1年生「いろいろなじゃんけんについてつたえあおう」
 - ・ どのような知識・技能を身に付けさせるのか？ → 習得すべき知識・技能の明確化（基礎・基本となる六つの話型のパターン）
 - ・ どのような言語活動を通して、確かな力を身に付けさせるのか？ → 言語活動の教材化（指導と評価の計画を立て、習得と活用を促す、言語事項・領域・表現様式）

实践 1

- ① 話型を使って考える。(図を見て組み立てを考える「組み立てシート」)
- ② 話型を使って書く。(説明内容を文章化「原稿用紙」)
- ③ 話型を使って話す・聞く。(聞いた内容をメモする「聞き取りワークシート」)
- ④ 話型を使って考える。(調べたり、自分で考えたりしたじゃんけんの説明を考える「組み立てシート」)

实践2

- ① オリジナルじゃんけんを考える。(じゃんけんの組み立てを考える・図を見て組み立てを考える～話型を使って「原稿用紙」)
- ② 話型を使って話す。
- ③ 話型を使ってオリジナルじゃんけんを紹介する。

2 成果

- 習得すべき知識・技能を明確にし、言語活動の教材化を位置づけた単元の学習を通して
 - ★ 児童は…
 - ・ 目的意識・相手意識をもち単元の学習への見通しをもつことで意欲的に学習を継続することができた。
 - ・ 習得した型を活用する言語活動を通して、自分の伝えたいことを明らかにし、その内容を分かりやすく筋道立てることができた。
 - ・ 自己の振り返りを通して、達成感を味わいながら学習を継続できた。
 - ★ 教師は…
 - ・ 指導すべき事項が明確になったことで、指導のポイントを明確にした授業が可能になった。
 - ・ 評価の観点が明確になり、評価結果を指導に行かすことができた。
 - ・ 何のための言語活動かを自覚して授業にのぞむことができた。

3 課題

- 習得すべき知識・技能を身に付けさせるために有効な言語活動についてさらに研究していく。
- 系統を意識し、児童の学びをスパイラルに継続させ、力を伸ばしていく。
- 国語科で身に付けた力を他の教科・領域などでの学習の場でも活用し、児童一人一人の力をより確かなものにしていく。

知識・技能の明確化と言語活動の教材化

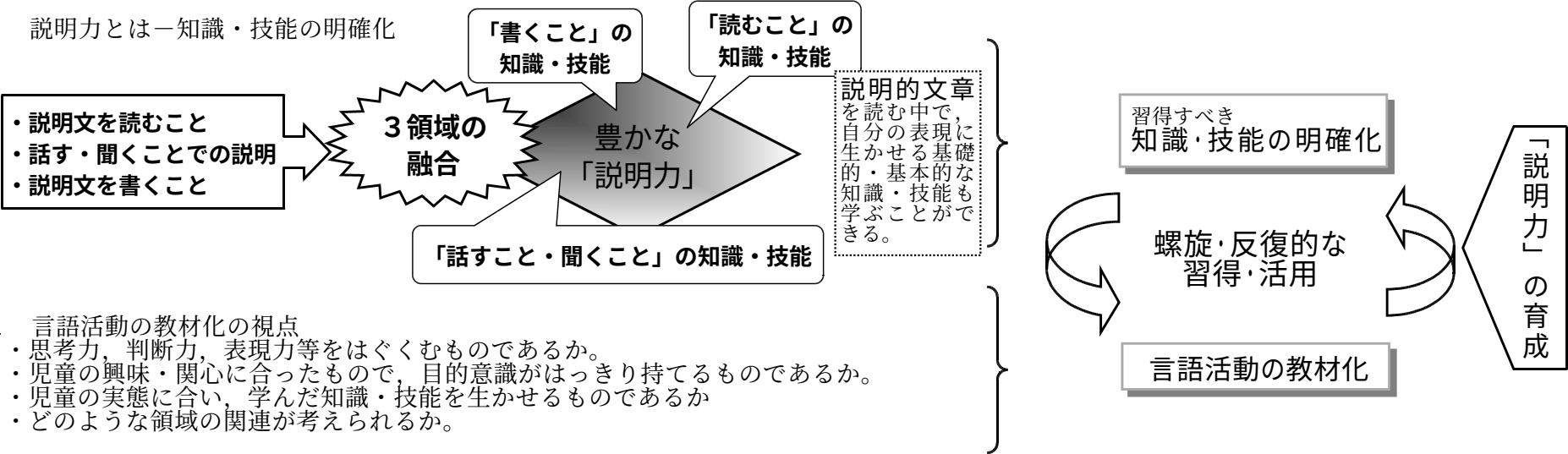
「いろいろなじゃんけんについてつたえあおう

「説明力の習得と活用

「じゃんけん」(1年)

小豆支部 研究部

1 説明力とは一知識・技能の明確化



2 言語活動の教材化の視点

- ・思考力、判断力、表現力等をはぐくむものであるか。
- ・児童の興味・関心に合ったもので、目的意識がはっきり持てるものであるか。
- ・児童の実態に合い、学んだ知識・技能を生かせるものであるか
- ・どのような領域の関連が考えられるか。

説明的文章教材と新学習指導要領・指導事項との関連 及び 言語活動（試案）

単元名 (教材名)	学習指導要領に示された3領域の指導事項との関連											習得（読むこと）と活用	言語活動の例 →相当する言語活動例の記号
	C読むこと	A話すこと・聞くこと	B書くこと	ア音読	イ効果的な読み方	ウ効果的な文章	エ効果的な文章	オ効果的な文章	カ効果的な文章	ク効果的な文章	コ効果的な文章		
1年	（どうぶつのはな）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文章のきまりを意識しながら、書かれている事柄を正しく読み取り、説明の順序を捉える。	
	のりもののことをしらべよう（いろいろなふね）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文章全体の仕組みや、いろいろな船の役目と構造の工夫について書いてあることを正しく読み取る。ほかの好きな乗り物について調べ、船と同様に、役目、構造の工夫等について基本文型に従って書いてまとめ発表し合う。	乗り物の本を読み、役目や構造の工夫について見付け、「乗り物絵本」をつくる。→B(2)ウ
	いろいろなじゃんけんについてつたえあおう（じゃんけん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	じゃんけんの仕組みや勝ち負けの理由について読み取り、話型を知る。ほかのじゃんけんについて調べたり作ったりし、理由の述べ方などの話型を使って紹介する。	自分が考えたり調べたりしたじゃんけんを紹介し合い、「じゃんけん大会」をする。→A(2)イ、A(2)エ
2年	じゅんじょに気をつけて読もう（たんぼぼ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	挿絵やたんぼぼの各部分の名前を手がかりに、形式段落に書かれていることの大体をとらえる。時間の経過を表す言葉をおさえたり、挿絵と対応させたりしながら、書かれている内容を読み取る。たんぼぼの仲間の増やし方を順序にそって文章にまとめる。他の動植物に関心を持ち、読書生活につなぐ。	たんぼぼについて読み取った内容を、友だちに話す。→C(2)ウ
	どうぶつのみみつをしらべよう（ビーバーの大工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事柄の順序に気を付けて叙述に即して読み取る。挿絵や写真と本文を対応させたり、「誰が（なにが）」「どうした（どんなだ）」という主述の関係を押さえたりして、正確に読み取る。動物について書かれた本を読み、好きな動物について順序よく説明する。	興味のある動物について説明するために必要な言葉や文を書き抜く。→B(2)エ、C(2)ウ
	いろいろなあそびについて話し合おう（せかいのかくれんぼ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	挿絵と段落を結びつけて教材文を分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。フィンランドとインドネシアのかくれんぼについて、準備や遊び方を読み取り、日本の掛けりとの共通点や相違点をまとめる。フィンランドとインドネシアのかくれんぼを比べ、準備や遊び方について共通点や相違点をまとめる。	紹介したい遊びの準備や遊び方について調べる。グループでやってみてみたい遊びを決め、楽しく遊ぶ工夫について話し合う。→A(2)イ、C(2)ウ

単元名 (教材名)	学習指導要領に示された3領域の指導事項との関連											習得（読むこと）と活用	言語活動の例 →相当する言語活動例の記号
	C読むこと	A話すこと・聞くこと	B書くこと	ア音読	イ効果的な読み方	ウ効果的な文章	エ効果的な文章	オ効果的な文章	カ効果的な文章	ク効果的な文章	コ効果的な文章		
3年	だんろごとに内ようをどちえながら読もう（自然のかくし絵）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中心となる語や文（繰り返して出てくる言葉や題名とつながりのある言葉）を見付けて、各段落の内容を捉え、段落ごとに要約する。昆虫や生き物の生態について関心を高め、読書意欲を喚起する。	保護色などの生き物の生態について書かれた文章を要約し、教材文をモデルに説明をまとめる。→B(2)ウ
	いろいろなお祭りについて調べよう（つな引きのお祭り）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	はじめ・中・終わりの文章構成を捉え、要点や細かい点に注意しながら読み、それぞれのお祭りについていろいろな方法で調べたことを整理し、紹介し合う。	地域の行事やお祭りについて、疑問に思うことを中心に調べ、分かったことを整理し、新聞やポスターにまとめる。→B(2)イ
	よりよいくらしについて話し合おう（もうどう犬の訓練）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	段落のまとまりから文章構成を捉え、具体例をもとに訓練の意味について正しく読み取る。話し合いの仕方を学習し、調べたことに対する各自の考えをグループで話し合う。	グループで調べたことや考えたことを題材とし、話し合う。→A(2)イ
4年	だんろとだんろの結び付きを考えながら読もう（ヤドカリとインゲンチャク）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意味段落を捉え、小見出しを付ける。段落の要点をまとめながら、「問い」に対する「答え」に当たる段落を正しく読み取る。生き物について書かれた本などに興味を広げる。	生き物や自然について書かれた本を読み、友だちに紹介する。→C(2)オ
	いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう（ウミガメのはまを守る）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文章構成を知り、小見出しを付ける。段落ごとに要約しながら事実を読み取る。筆者の述べ方から取材内容や願いを推測し、自分の取材活動に生かす。まとまりを意識して説明文を書く。	集めた情報をまとめて、パンフレットをつくる→B(2)ウ、C(2)イ
	くらしの中の世界について話し合おう（くらしの中の和と洋）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対比的な段落相互の関係や例の挙げ方から、筆者の考えを読み取る。和と洋という観点で比較したことを話し合う。共通点・相違点を明らかにしながら話し合う。	筆者の述べ方を参考に、「和」と「洋」で比べたことについてグループで話し合う。→A(2)イ

単元名 (教材名)	学習指導要領に示された3領域の指導事項との関連											習得（読むこと）と活用	言語活動の例 →相当する言語活動例の記号
	C読むこと	A話すこと・聞くこと	B書くこと	ア音読	イ効果的な読み方	ウ効果的な文章	エ効果的な文章	オ効果的な文章	カ効果的な文章	ク効果的な文章	コ効果的な文章		
5年	文章の仕組みを考えながら読もう（動物の体）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	段落相互の関係に気を付けて、六つのまとまりに分け、小見出しを付ける。段落の関係に注意しながら、筆者の考え（要旨）を読み取る。動物や自然環境への関心を高め、読書生活につなぐ。	動物や自然環境について書かれた他の本や文章を読み、要旨をとらえる。→C(2)イ
	いろいろな環境問題について調べよう（森林のおくりもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	題名を手がかりにまとまりに分け、小見出しを付ける。文末表現から要旨をとらえ、具体例の効果を考え、文章全体の構成をとらえる。環境に関する問題に視点を広げ、疑問に思ったことを解決するための関連図書を見つけて、紹介し合う。	集めた資料の文章を引用しながら、ブックガイドをつくる。→B(2)イ、C(2)イ
	身近な生活について討論しよう（インスタント食品とわたしたちの生活）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	要旨をとらえ、主張と根拠の組み立てや文章構成の工夫（よさや問題点、その根拠や具体例、それに対する反論、補説など）を読み取る。身近な問題に視点を広げ、その良さと問題点について調べる。筆者の述べ方を生かして自分の考えをまとめ、「ディベート」を行う。	身近な生活の中から論題を見つけて討論する。→A(2)イ、C(2)イ
6年	文章の構成を考えながら読もう（イースター島にはなぜ森林がないのか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	段落の内容を要約し、全体を三つのまとまり（序論・本論・結論）に分ける。文章の構成を考えながら、筆者の考え（要旨）を読み取る。自然や環境への関心を高め、読書生活につなぐ。	自然や環境に関する本や文章を読み、要旨について話し合う。→C(2)イ
	いろいろな言葉について調べよう（言葉の意味を追って）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全体を三つのまとまり（序論・本論・結論）に分け、内容を要約する。身近な生活に関する言葉を説明する観点を考え、辞典をつくり紹介し合う。	自分の経験に加え、図鑑や辞典などを活用して必要な情報を集め、観点到に添って説明を考え辞典をつくる。→B(2)イ
	わたしたちの「未来」について討論しよう（百年前の未来予測）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事実と感想・意見との関係に注意しながら要旨を読み取る。「パネルディスカッション」の仕方を知り、未来の生活について考えたことや調べたことを整理して、根拠を示しながら話し合いを行う。	各自分野を決めて未来について予測し、自分の考えをまとめて分野ごとに討論する。→A(2)イ

第1学年

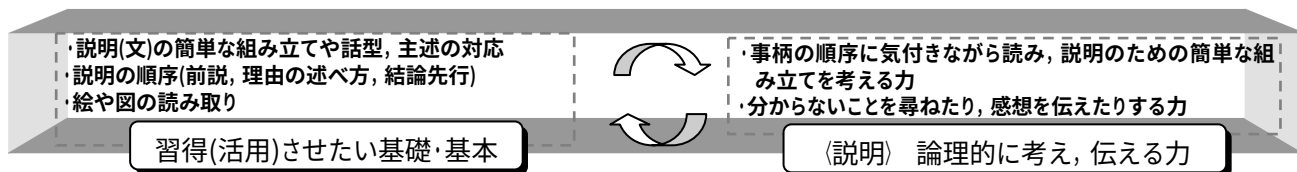
単元名

国語科学習指導案

いろいろなじゃんけんについてつたえあおう

(「じゃんけん(東京書籍)」をもとに)

1 研究主題とのかかわり



2 単元の目標

- じゃんけんに興味をもって調べたり、話し合ったりしている。【関】
- ◎ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み取る。【読】
- ◎ 調べたじゃんけんについて順序に気を付けて分かりやすく話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。【話・聞】
- 文の中における主語と述語との関係に注意する。【言語事項】

3 評価規準

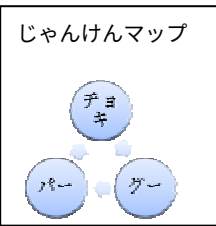
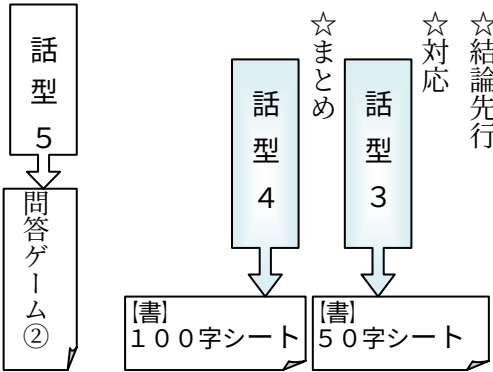
評価の観点	単元の評価規準	学習活動における具体的評価規準
国語への関心・意欲・態度	・ じゃんけんに興味をもって調べたり、話し合ったりしている。	① じゃんけんについて興味をもち、進んで経験を話したり、じゃんけん大会までにどのような活動をしたらいいか考え、発言しようとしている。 ② 本や資料でいろいろなじゃんけんを調べようとしている。
読む能力	・ 説明されている事柄の順序に着目して、内容の大体を読んでいる。	① 問いかけの文の内容を読み取っている。 ② じゃんけんの勝ち負けの関係を読み取っている。 ③ まとめの働きをする「このように」や文末表現に気付き、じゃんけんの仕組みについてのまとめ方を読み取っている。 ④ 勝ち負けの関係やその理由を読み取り、隣の人と話し合って確かめている。 ⑤ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を理解している。
話す・聞く能力	・ 調べたじゃんけんについて順序を考えながら話している。 ・ 大事なことを落とさないで相手の話を最後まで聞いている。	① 勝ち負けの関係や理由を話し合っている。 ② 調べたじゃんけんの勝ち負けの関係をまとめている。 ③ 調べたじゃんけんのやり方や仕組みを順序に気を付けて分かりやすく話している。 ④ じゃんけんのやり方や勝ち負けの関係を落とさず聞いている。
言語についての知識・理解・技能	・ 文の中における主語と述語との関係に注意して読んだり、話したりしている。	① 文の中における主語と述語との関係に気を付けて読んでいる。 ② 主語と述語との関係に注意して話している。

4 指導と評価の計画 全14時間

次	学習内容	学習形態	評価					評価方法
			関	読	話	言	学習活動における具体的評価基準とAと評価するキーワード	
一	全文を読み、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 2時間 ・ 挿絵をもとに、じゃんけんの仕組みなどについて考え、説明の仕方を探ることを通して、説明してみたいという意欲をもつ。 ・ 全文を読み、じゃんけん大会までの学習の見通しをもつ。(2)	一斉 TT ↓	○				【関】① じゃんけんについて興味をもち、これまでの経験を通して知っていることを進んで話している。 【関】① じゃんけん大会までにどのような活動をしたらいいか考え、発言しようとしている。	行動観察 発言 ワークシート

二	教材文「じゃんけん」で内容の大体を読み取る。 4時間 ・じゃんけんの仕組みに対する問いかけを読み取る。(1) ・「グー」「チョキ」「パー」がそれぞれ何を表しているのかをとらえ、じゃんけんの勝ち負けの関係を読み取る。(1) ・じゃんけんの仕組みについてのまとめ方を読み取る。(1) ・手引きをもとに、じゃんけんの勝ち負けの関係やその理由について隣の人と話し合って確かめる。〈問答ゲーム〉(1) ミニ評価テスト①	一斉 TT		○	◎	○	【読】① 問いかけの文の内容を読み取っている。 【読】② じゃんけんの勝ち負けの仕組みを読み取っている。 A【勝ち負けの関係と理由】 勝ち負けの関係を正確に読み取っている。 【言】① 文の中の主語と述語の関係に気を付けて読んでいる。 【読】③ まとめの働きをする「このように」や文末表現に気付き、じゃんけんの仕組みについてのまとめ方を読み取っている。 【読】④ 勝ち負けの関係やその理由を読み取り、隣の人と話し合って確かめている。	行動観察 発言 ワークシート
三	いろいろなじゃんけんについて調べて、説明を考える。 5時間 ・インドネシアのじゃんけんについて勝ち負けの関係を読み取り理由を話し合う。(1) ・本や資料でいろいろなじゃんけんを調べる。(1) ・調べたじゃんけんの勝ち負けの関係をまとめる。(1) ・二人組になり、自分の考えたじゃんけんの説明をしたり、質問に答えたりしながら、説明の練習をする。〈ペア〉(2) ミニ評価テスト②	一斉 TT	◎		○	◎	【話】① 勝ち負けの関係を理由を話し合っている。 【関】② 本や資料でいろいろなじゃんけんを調べようとしている。 A【進んで調べている態度】 自分から進んで本を探したり、人に尋ねたりしていろいろなじゃんけんを調べようとしている。 【話】② 調べたじゃんけんの勝ち負けの関係をまとめている。 A【説明の順序と工夫】 じゃんけんの勝ち負けの関係と理由をまとめ、分かりやすい説明にするために、話す順序や工夫を考えている。 【言】② 主語と述語との関係に注意して話している。 A【主述の対応の正確さ】 主語と述語を正しく照応させて、文末まではっきり話している。 【話】③ 調べたじゃんけんのやり方や仕組みを順序に気を付けて分かりやすく話している。 【聞】④ じゃんけんのやり方や勝ち負けの関係を落とさず聞いている。 A【勝ち負けの関係と理由への質問】 じゃんけんのやり方や勝ち負けの関係の説明を落とさず聞き、分からないことや確かめたいことを聞き返している。	行動観察 発言 ワークシート
四	「おもしろ じゃんけんランド」を開く。 2時間 ・自分たちが調べたじゃんけんを説明し合い、実際にやってみる。(グループ内)(1) ・自分たちが調べたじゃんけんを説明し合い、実際にやってみる。(全体)(1)	一斉 TT			◎		【聞】④ 調べたじゃんけんのやり方や勝ち負けの関係を落とさず聞いている。 A【勝ち負けの関係とその理由】 勝ち負けの関係とその理由を正しく聞いている。 A【内容についての感想や他のじゃんけんと比較しての気づき】 聞いたことをもとにして、友だちの内容のおもしろさや他のじゃんけんと比較した気づきについての感想を話している。	行動観察 発言 ワークシート
五	学習を振り返る。 1時間 ・これまでの学習活動を振り返る。まとめのテストをする (1)	個別		○			【読】⑤ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を理解している。	ワークシート テスト

5 単元の構想

単元「いろいろな じゃんけんについて つたえあおう」の 構想				
第一次 見通しをもとう	課題把握 関心・意欲 「説明したいな」	☆絵の分析 ・情報の取り出し 話型 0 ・仕組みを考え、説明 話型 1	じゃんけんマップ ※勝ち負けを、図にかきこむ。 	
第二次 じゃんけんのしかたをしよう	説明の仕方を知る 説明文「じゃんけん」 を読んで	☆理由の述べ方 問答ゲーム① 話型 2 ☆結論先行 話型 3 ☆対応 話型 4 ☆まとめ 話型 5 問答ゲーム②	 [書] 100字シート [書] 50字シート	
第三次 じゃんけんのしかたを かんがえよう	説明の仕方を考える① インドネシアの じゃんけん 説明の仕方を考える②	話型 0 話型 2 話型 3 話型 4 話型 5		
第四次 じゃんけんのしかたを つたえあおう	説明の仕方を考える③ おもしろ じゃんけんランド	話型 0 話型 2 話型 3 話型 4 話型 5 パワーアップ タイム ペア グループ 全体		
第五次 たしかめよう	たしかめテスト	説明のための ①文章の組み立て ②話型 ③主述の関係 ④説明の順序 (前説) (理由の述べ方) (結論先行) ⑤絵や図の読み取り (関係を適切に表 したり、理解し たりする)		

6 単元で習得・活用させたい話型

単元「いろいろなじゃんけんについて はなしあおう」							東京書籍 一年下 「じゃんけん」より		
番号	0	1	2	3	4	5	話 型	習得させたい基礎・基本	活 用
	じゃんけんをするとき、「」「」「」を出します。	は、 に かけ（まけ）ます。	は、 を あらわしています。	は、 に かけ（まけ）ます。 ⇔（対応）⇔	このように、 （ ） （…です。…なっています。） ）なのです。	〈説明〉 と と で、じゃんけんをします。 は、 に かけます。 〈問い〉なぜ、 は に かけのですか。 〈答え〉 は、 （ ） からです。		・最初に説明すべきもの （説明の順序） ・関係の説明 ・図と言葉の対応 ・先に説明すべきもの （説明の順序） ・結論先行 ・理由の述べ方 ・文の対応 ・まとめの述べ方	話す 聞く 書く 読む 話す 聞く 書く
	・前説 ・絵の読み取り	・ペアトーク ・聞きとってじゃんけんマップに順序を書き込む	・絵と言葉の対応	・ペアトーク ・グループ内交流 ・五十文字シート		・ペアトーク ・グループ内交流 ・百字シート			

1年生「じゃんけん」つたえかた たつ人カード

のうま小 1年 ()

★ 学しゅうの なかぞれ

※ >のしつもんについては、◎はいんよくできた ○できた △あまりできなかった ×ぜんぜんできなかった でかいてね。

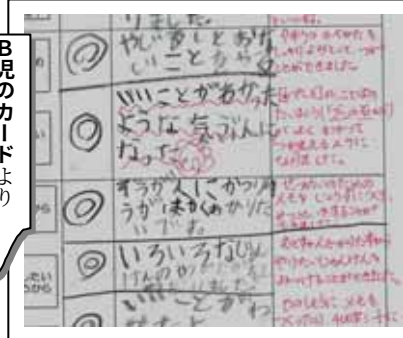
	ないよう	じにひょうか	ひとことかんそう	せんせいから
うしろめたい	☆せつめいしない > えから わかることをみつけ、 せつめいしたいきもちになれたかな？			
	☆せつめい文を よみとろう > りゆうの のべかたや まとめ のしかたは わかったかな？			
うしろめたい	☆せつめい文を よみとろう > かた0～5をつかった、せつめい のしかたが わかったかな？			
	☆インドネシアの じゃんけん > かんけいを すや又しょうから よみとり、はなしあえたかな？			
じぶんのかんがえ	☆ほかのくいの じゃんけん > じぶんが しょうかいしたい じゃんけんを、本やしょうから みつけられたかな？			
	☆ほかのくいの じゃんけん > しらべたじゃんけんの せつめい のしかたをまもられたかな？			
	☆ほかのくいの じゃんけん > しらべた（つくった）じゃんけん について、せつめいしたり、しつもん にこたえたりすることができたかな？（ペア）			
	☆「おもしろじゃんけんランド」を しよう>しらべたりかんがえたりした、 じゃんけんのしかたをきいて、じゃんけん をし、しつもんしたりすることができたかな？			
うしろめたい	☆まとめのテストを しよう > じゃんけんのしかたの せつめい のしかたが わかりましたか？			

この がくしゅうを とおして、せつめいのしかたが じょうず
なるよ。がんばりましょう！！

A児のカードより



B児のカードより



※授業後に児童が自己評価する。教師は「かた」の習得・活用を意識したコメントを書く。

★パワーアップ チャレンジ

のうま小 1年()



この学しゅうで みにつける力は これだけだよ。
ほしのかずがおおいほど、この学しゅうで だいいき力であることを
あらわしているよ。がんばってね。
パワーアップメーターのほしは、一日さうこう3つまでがもくひょう
だよ！

	つけたいカ	パワーアップ メーター	はんてい
せつめい	★★けつろんをさきにいてから、りゆうをいう(せつめいのじゅんじょ)	☆☆☆☆☆☆	
	★★だいいきなことをおとさずきいたり、しつもんしたりする	☆☆☆☆☆☆	
よめかた	★★★せつめいのしかたのかたを正しく よみとる(つたえる)	☆☆☆☆☆☆	
	★★かたをつかってわかりやすく つたえる	☆☆☆☆☆☆	
じぶんのかんがえ	★★じぶんのかんがえがえつめいをかいたりつたえたりする。	☆☆☆☆☆☆	
	☆☆☆ともだちの せつめいの よいところを みつけて つたえる。	☆☆☆☆☆☆	
ともだちといっしょにパワーアップ	☆☆☆ともだちの せつめいについて、しつもんやアドバイスをする。	☆☆☆☆☆☆	
	☆☆☆ともだちにいてもらったことをもとに、じぶんのかんがえがパワーアップできる。	☆☆☆☆☆☆	



※単元の学習の流れを教室にも掲示。

第二次 2/4時間目に使用

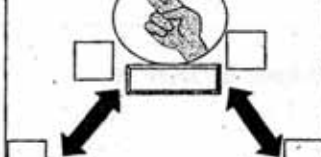
第二次 3/4時間目に使用

第二次 4/4 時間目に使用

いろいろな じゃんけんについて つたえあおう①

のうま小一年

◎えを みて わかることを かきましょう。



じゃんけんをするとき、

え

① 「は、」 「にかちます。」

② 「は、」 「にまけます。」

③ 「は、」 「にかちます。」

④ 「は、」 「にまけます。」

⑤ 「は、」 「にかちます。」

⑥ 「は、」 「にまけます。」

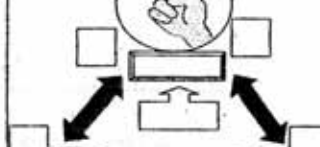
「かち」 「は、」 「にかちまけます。」

「かち」 「は、」 「にかちまけます。」

いろいろな じゃんけんについて つたえあおう②

のうま小一年

③すに わかることを かきこみ、いみをかながえましよう。



①	「は、」	「を あらわしています。
②	「は、」	「を あらわしています。
③	「は、」	「を あらわしています。

「かな」 「は、」 「を あらわしています。」

いろいろな じゃんけんについて つたえあおう①

のうま小一年

◎えを みて わかることを かきましよう。

① 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

★はじめに

「をいう。」

★あとから

「をいう。」

「に かちます。」 「からです。」

「に かちます。」 「からです。」

「に かちます。」 「からです。」

「に かちます。」 「からです。」

② 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

③ 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

④ 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

⑤ 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

⑥ 「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

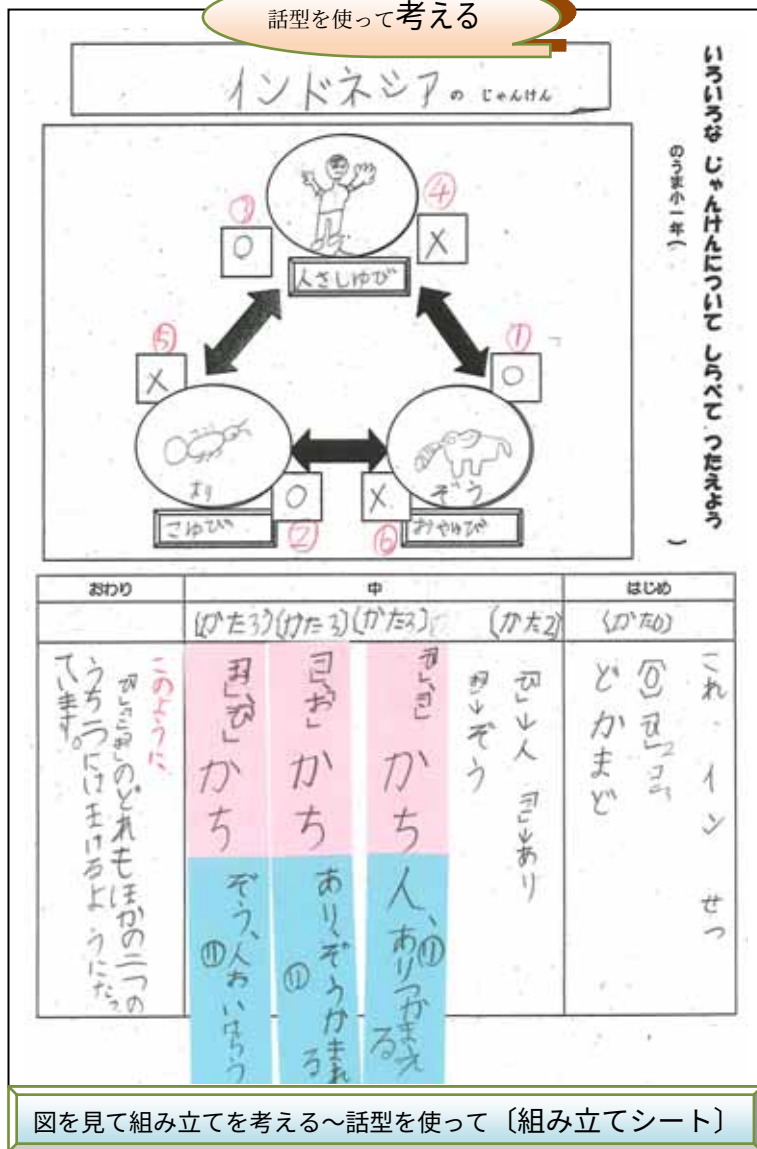
「は、」 「は、」 「は、」 「は、」

「(かたじけなく)」 「(かたじけなく)」

「(だからです。)」 「(だからです。)」

実践①

話型を使って考える



話型を使って書く

説明内容を文章化～話型を使って〔原稿用紙〕

話型を使って話す・聞く

話型を使って考える

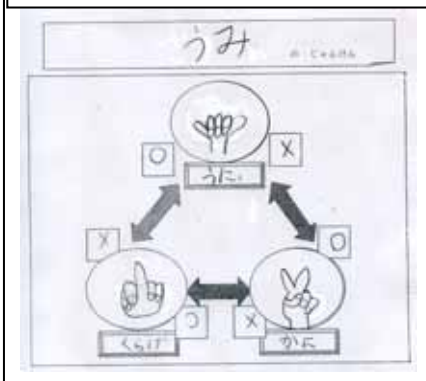
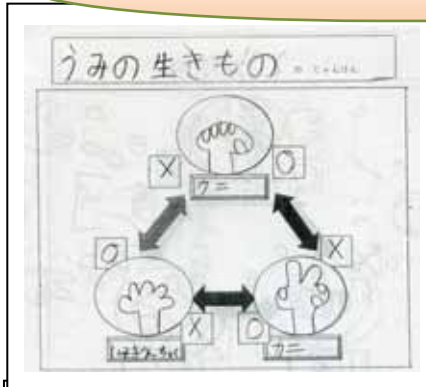
おもしろじゃんけんランド 発表会

調べたり，自分で考えたりしたじゃんけんの説明を考える〔組み立てシート〕

聞いた内容の大体をメモする〔聞き取りワークシート〕

実践②

オリジナルじゃんけんを考える



じゃんけんの組み立てを考える



図を見て組み立てを考える～話型を使って〔原稿用紙〕

話型を使って
オリジナルじゃんけんを紹介する



話型を使って話す・聞く



10 成果と課題

【成果】

- 習得すべき知識・技能を明確にし、言語活動の教材化を位置付けた単元の学習を通して、
- ★児童は……
 - ・ 目的意識・相手意識をもち、単元の学習への見通しをもつことで意欲的に学習を継続することができた。
 - ・ 習得した型を活用する言語活動を通して、自分の伝えたいことを明らかにし、その内容を分かりやすく筋道立てることができた。
 - ・ 自己の振り返りを通して、達成感を味わいながら学習を継続できた。
- ★教師は……
 - ・ 指導すべき事項が明確になったことで、指導のポイントを明確にした授業が可能となった。
 - ・ 評価の観点が明確になり、評価結果を指導に生かすことができた。
 - ・ 何のための言語活動かを自覚して授業にのぞむことができた。

【課題】

- 習得すべき知識・技能を身に付けさせるために有効な言語活動についてさらに追究していく。
- 系統を意識し、児童の学びをスパイラルに継続させ、力を伸ばしていく。
- 国語科で身に付けた力を他の教科・領域などでの学習の場でも活用し、児童一人一人の力をより確かなものにしていく。